

2026年度 うめ（漬梅）防除暦

(株) 山東農園 [フリーダイヤル] 0120-09-9393 [FAX] 073-478-2655

防除時期	対象病害虫	防除薬剤	倍数	使用時期/使用回数	備考
12月（休眠期）	各種病害虫	石灰硫黄合剤	7倍		
開花前	ハナムシ・アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	前日/3回	○多発園のみ
3月上旬 (発芽期)	灰色かび病 かいよう病 アブラムシ類	ナティー ボ フロ アブル I C ボルドー 66D モスピラン顆粒水溶剤	2000倍 50倍 4000倍	前日/2回 葉芽発芽前/- 前日/3回	ホウ素欠乏症には4月上旬～5月上旬にプラムエース800倍
3月下旬 (発芽期)	黒星病・すす斑病 かいよう病 ハナムシ・アブラムシ類	ベルクート水和剤 マイコシールド ロディー水和剤	2000倍 1500倍 4000倍	30日前/3回 21日前/4回 7日前/3回	○かいよう病にはアグレプト水和剤1000倍（90日前/2回）も可。 ただし、使用前日数と回数に注意!! ○ロディー水の散布は養蜂巣箱撤去後に。
4月上旬 (果実肥大期)	黒星病・すす斑病 かいよう病 ケムシ類・コスカシバ	デランフロアブル マイコシールド フェニックスF	1500倍 1500倍 4000倍	14日前/2回 21日前/4回 前日/2回	○ウメシロカイガラムシ・アブラムシ・ハダニ類には 4月下旬にモベントF2000倍（7日/3回） ※混用順 モベントF → アグレプト水またはマイコシールド
4月下旬 (果実肥大期)	黒星病・すす斑病 かいよう病	オーソサイド水和剤 マイコシールド	800倍 1500倍	21日前/3回 21日前/4回	○すす斑症にはオーソサイド水 800倍（21日前/3回）も可。 ただし、高温（25°C以上）や多湿時の薬害に注意
5月上旬 (果実肥大期)	黒星病・すす斑病	デランフロアブル	1500倍	14日前/2回	○黒点症・油揚げ症対策および降雨が多いと予測される場合は アビオンEの加用が良い。
5月中下旬 (青梅収穫直前)	黒星病・すす斑病 カメムシ類・ケシキスイ	スコア顆粒水和剤 ダントツ水溶剤	2000～3000倍 2000倍	前日/3回 前日/3回	○灰色かび病、うどんこ病にはストロビーDF2000倍 ○黒点病、すす斑病にはカナメフロアブル4000倍でもよい（抵抗性対策）
6月上旬 (漬け梅収穫直前)	黒星病・すす斑病	スコア顆粒水和剤	2000～3000倍	前日/3回	○ケシキスイ、クビアカツヤカミキリ対策として モスピラン顆粒水 2000倍 前日/3回
7～8月（収穫後）	ケムシ類	ロディー水和剤	2000倍	7日前/3回	○クビアカツヤカミキリ対策としてアグロスリンク水和剤2000倍も有効 (農薬登録はアブラムシであり) ○ケムシは多発園のみ
9月上旬 (収穫後)	カイガラムシ	アプロード水和剤	1000倍	収穫後落葉前/2回	○多発園のみ ○キクイムシにはガットキラー100倍（落葉の危険性あり） ○コスカシバ（開花前） フェニックスF200倍

●クビアカツヤカミキリ幼虫対策としてフ拉斯（木くず、虫ふん）の発生が確認されたら樹幹・樹枝の食入孔へのロビンフッド（前日/5回）を噴射しながら注入する。